

五  
イ  
方 募  
入 価 法 入  
札 格 決  
發 競 定  
行 爭 の

當も各  
ての申  
るか込  
。らみ  
その  
のう  
応ち  
募応  
額募  
を価  
順格  
次の  
割高  
りい

四  
發 行 方 法  
用 振 替 条 款  
等 項 及 び 適  
發 行 法 項 の  
名 称 及 び 記  
號 及 び 記

価一を場で競争う札価振の以律社条九特  
格国定特あ争入。へ格替適下へ平債第年別  
競債め別つ入札に以を機用「振成十三年法  
争市る参て札發によ下競争は日本銀行第  
入場も加、と行「価に付けるものと  
札特の者財同「格競して行とす。」の規  
發別にご務時「格競しに付けるものと  
行參よと大に「加るに臣行「以下札わる。  
と者發応がわ。」の規  
い・行募各れ及「I以度債入価格競とる  
う第へ限國るび価「とる。そ  
非下額市札格競い入の定

○  
平省令財務省告示第  
成二行國債の發行等に關する省令  
二十条件等を次とおり告示する。割引短  
四年一月二月八日國庫短期証券（第二百五十一回）  
四年一月二月二十日第十一項の規定に基づき、大藏大臣安住淳

十 一	九 八	七	六		
發	振額最	払	發	口	
發	替	低行争非者特国入価込	行争非者特国入価	行争非者特国	
行	額	入価・別債札格金	入価・別債札格行	入価・別債	
價	單面	札格第參市發競金	札格第參市發競	札格第參市	
格	位金	發競I加場行爭額	發競I加場行爭額	發競I加場	
平	す額の振	千	万千六二	万額六額	込募各
成	るの記替	万	二七万兆	円面千面	み限國
二	。整載法	円	千百七三	金万金	の度債
十	数又の		円八千千	額円額	応額市
四	倍は規		十円百	でで	募の場
年	の記定		二九	千二	額範特
一	金録に		億十	七兆	を圃別
月	額はよ		六億	百三	割内參
二	に、る		千三	八千	りに加
十	よ最振		四千	十ニ	当お者
日	る低替		百五	四百	ていご
	も額口		四百	億十	るてと
	の面座		十六	五四	。各の
	と金簿		一十	千億	申応

十  
六  
十  
五  
十  
四  
十  
三  
十  
二  
口  
イ

払者入場元償  
込札所金還  
期参支金  
日加払額

償行争非者特国  
還入価・別債  
期札格第参市  
限発競I加場

入価  
札格  
発競  
行争

平財日額償当た平  
成務本面還ただ成  
二大銀金金るし二  
十臣行額をと、十  
四年から百支き償五  
一月通知にう、期一  
月二通知つ。そが月  
二十日を受けた者  
百円  
の銀二  
翌行十  
當休一  
業業日  
日日  
にに

十額募十額  
九面価九面  
錢金格錢金  
六額五額  
厘百厘百  
円以円  
に上に  
につのつ  
きそき  
九れ九  
十九ぞ十  
九れ九  
円の円  
八応八